このコードが長くなるにつれて、ロード画面内にコードを保持することはもはや適切ではないと感じています。

それをリファクタリングして、コードを取得する場所を別のクラスに移動してみましょう。

そして、挑戦としてそれをしてほしい。

現在の位置を取得するすべてのロジックが専用の位置オブジェクトによって処理されるように、このコードをリファクタリングしてほしい。

これは、location.dartファイルに個別のロケーションクラスを作成することを意味します。

このクラスには、緯度と経度の2つのプロパティが必要です。

また、getCurrentLocationを取得できるメソッドが必要です。

これは、ロード画面からtry catchブロックを移動する必要がある場所です。

ロード画面に戻り、getLocationメソッドを更新して、新しいロケーションオブジェクトを作成します。 get current locationメソッドを呼び出してから、緯度と経度の内部に保存されている値を印刷します。

この課題は、非同期と待機の理解をテストします。

したがって、これらの原則に留意してください。

解決策を説明する前に、ビデオを一時停止するために数秒与えます。

準備はいい？

これが解決策です。

最初のステップは、Locationと呼ばれるlocation.dartファイルに新しいクラスを作成することです。そして、このロケーションクラスには2つのプロパティがあります。

緯度と経度を保持します。

position.latitudeまたはposition.longitudeを実行するとジオロケーターからの出力になるため、これらは両方とも倍になります。データ型は倍になります。

それでは、先に進んでクラスメソッドを作成し、getCurrentLocationと呼びます。これは入力を取得しませんが、そのジオロケーターパッケージを使用します。

それでは、get locationメソッドからtry catchブロックを削除して、代わりにこのgetCurrentLocationメソッドに貼り付けましょう。再びジオロケーターを使用して現在の位置を取得します。

もちろん、このawaitキーワードが必要なので、このメソッドの出力として返す前に現在の位置が見つかるまで待機できるように、これを非同期としてマークする必要があります。そして、位置を印刷する代わりに、position.latitudeとposition.longitudeをこれらの2つのプロパティに割り当てます。

そのため、緯度は現在position.latitudeと等しくなり、経度は現在position.longitudeと等しくなると言います。

そのため、getCurrentLocationを呼び出すとき、現在の場所を取得するために待機し、それらの値を緯度と経度に割り当てようとする必要があります。

getLocation内のロード画面に戻り、servicesフォルダーをインポートしてそのファイルをタップし、location.dartファイルを検索します。これがこのファイルへのフルパスです。次に、locationを呼び出すだけの新しい場所オブジェクトを作成し、それを新しい場所オブジェクトと等しくなるように設定します。

そして、その場所オブジェクトを初期化したら、location.getCurrentLocationと言います。

この場所オブジェクトからのlocation.latitudeまたはlocation.longitudeの結果を使用する場合、このgetCurrentLocationが完了するまで待機する必要があることを思い出してください。

理想的には、これを待機としてマークできるようにしたいです。しかし、futureを返すメソッドしか待機できないことに注意してください。

そのため、ここでは単にvoidを返すのではなく、代わりに将来のvoidを返しましょう。

このようにして、ロード画面に戻ると、location.latitudeまたはlocation.longitudeへのタップを開始する前に、これが完了するのを待つことができることがわかります。そして、このメソッドが完了するのを待つだけで、実際に緯度と経度に確実にアクセスできます。

それでは、実行を押して、実行中のコードを見てみましょう。したがって、場所コードが実際にはすべて別のファイルであるlocation.dartファイル内にある場合でも、loading\_screen.dartの緯度と経度を利用できることがわかります。

現在、非同期プログラミングは、Dartだけでなく、どのプログラミング言語でも難しいことで有名です。

まだ混乱を招く場合は、非同期で説明したレッスンに戻って、おそらく2倍の速度でもう一度視聴することをお勧めします。これは、これらの概念を再確認するためです。

すべてのピースがまとまり始め、意味を持ち始めるまでに数回の試行が必要になる場合があります。

しかし、それがすべて簡単であれば、API呼び出しを行い、実際にこれらの緯度と経度を使用して現在の場所の天気を取得します。

それで、それ以上については、次のレッスンで説明します。